

# アシスト

市川市サッカー協会第4種委員会 委員長 石原孝幸

## 「千葉県郡市トレセン少年サッカー選手権6年生大会」が佳境を迎えています。

この大会は、千葉県内の各地域のトレセン活動により結成された32チームが集い、チャンピオンを決める大会です。市川市が属している1ブロックには、浦安市と合わせて5チームが出場できる割り当てがあり、市川市3チーム、浦安市が2チーム出場しました。

市川市の出場チームは、市川FC（市川トレセン）、市川中央支部トレセン、市川北トレセンの3チーム。1月25日の1次リーグ、2月1日の2次リーグを経て、見事に、**市川FC（市川トレセン）**と**市川中央支部トレセン**の2チームが勝ち上がり、ベスト4に進みました。詳細は千葉県サッカー協会第4種委員会ホームページでご確認ください。

**市川FC（市川トレセン）**は、皆様ご承知のように、市川市サッカー協会第4種委員会に個人登録されている5年生を対象に、夏休みの前後に掛けてセレクションを行い、9月から本格的な活動を開始し、6年生の最後となるこの「千葉県郡市トレセン少年サッカー選手権6年生大会」を最後の重要な大会と位置付け、約2年間トレーニングを積んでいます。この大会のここ10年間を振り返ってみますと、市川FCがベスト4に入れなかったのは、2度だけ。そして、平成22年、23年には2年連続優勝を遂げています。今年もベスト4以上に入れましたので、これで6年連続ベスト4が決定しました。「毎年同じように、市川FC（市川トレセン）がレベルの高い子ども達を育成していること」は、県内でも高く評価されているところです。

ところで、昨年度からこの大会の競技規則が大きく変わりました。それは多くの選手が出場できるように、前後半で選手全員が入れ替わるという競技規則に変更したことです。このため、チームとして必ず最低22名の選手登録が必要となりました。

このことは、指導者の育成方法にも多くの影響を与えることとなりました。それは、一部の上手な子だけに頼りがちでは決して良い結果を残せないことが明白となり、2チーム分の子ども達を同じように育て上げることが、トレセンの指導者に求められることになったということです。

幸い市川FC（市川トレセン）は、セレクションを経てお預かりした選手全員を上手にすることを目指しておりましたので、この競技規則の変更には全く違和感はありませんでした。むしろ、選手層の厚さでの勝負は臨むところという感がありましたので、市川FC（市川トレセン）としては追い風の競技規則変更だと思っております。

さて、このような競技規則のもとで、同じ市からもう一つのトレセンチーム、しかも支部のトレセンチームがベスト4に進出したことは、大変意義があることだと思います。

市川市サッカー協会第4種委員会加盟するクラブは、北部支部、総武支部、中央支部、南部支部のどこかに所属しており、各支部では支部大会、審判研修会等の活動を行っております。支部トレセンの活動もその一つであり、各支部の実情に合わせて行われています。例えば、北部支部のトレセン活動は、5、6年。総武支部は、4年。中央支部は、4年、5年、6年。南部支部は4年、5年、とまちまちです。

市川FC（市川トレセン）と各支部トレセンの関係ですが、市川FC（市川トレセン）は市を代表するトレセン。支部トレセンは各支部を代表するトレセンと言えます。市川FC（市川トレセン）は、市全体を対象にしたセレクションに参加し合格した選手によるトレセンであり、支部トレセンは、所属する約10チームからセレクションされた選手によるトレセンです。

**単独のクラブ**—**支部トレセン**—**市川トレセン**という図式です。

では、支部トレセンの6年生の選手の構成どのようになっているのでしょうか。今回ベスト4に進出した中央支部トレセンを例にすると、5年生の時の市川FC（市川トレセン）のセレクションに合格できなかった者や、チーム事情等により、セレクションに参加しなかった者で構成されています。

余談ですが、本市の支部トレセンのように、いわば中間層を対象としたトレセン活動をきちんと行っている市は希です。ほとんどの市が、**単独のクラブ**—**市川トレセン**という図式でしかありません。

**市川中央支部トレセン**は、中央支部の子ども達のために、地道にトレセン活動を続けて来ています。しかも、今回は、「千葉県郡市トレセン少年サッカー選手権6年生大会」のベスト4に進出という快挙を達成しました。しかも、しかも、先ほどお話ししたように、競技規則の変更にも関わらず、です。市を代表するトレセンならいざ知らず、支部のトレセンが22名を選手登録し、並み居る他地域の市を代表するトレセンチームに勝利し、ベスト4に勝ち上がるのは並大抵のことではありません。聞く所によると、チーム事情等により、市川FC（市川トレセン）のセレクションに参加しなかった者が多数ということですが、かえって、市川の少年サッカー育成の質の高さと奥の深さ、子どもを大切にしたい成熟した組織力を見せつける結果となりました。

2チームがベスト4に進出したということは、対戦するというでもあります。今回は抽選の妙で、残念ながら準決勝で対戦ということになってしまいました。できれば、決勝でとみなさんはお思いになったと思います。私も全く同じです。

しかし、プレイヤーズファースト。試合は選手のものです。池上さんの教えを思い出しましょう。一番勝ちたいと思うのは選手です。指導者や保護者の皆様はどうぞあまり熱くならず、勝ちたいと思う選手を見守りましょう。

今、千葉県の少年サッカーに属する多くの方々が、市川を羨望の眼差しで見つめています。私たちの態度も見つめられています。市川対市川の対戦。子ども達は、市川らしい素晴らしい試合をみせてくれることでしょう。それに負けたくないような、市川らしい指導者のベンチワーク、保護者の応援を期待しています。

当日は無料です。みなさんどうぞフクダ電子アリーナへお出かけ下さい。そして、市川の少年サッカーの底力を、千葉県全体に見せつけようではありませんか。ご協力よろしくお祈りします。

